

● 甲田ゆり子の2013年1月～7月活動報告 ●

**2013年 1月**

- 1/2 公明党中野総支部新春街頭演説会(中野駅北口)
- 野方消防団始式(野方WIZ)
- 松が丘片山町会
- もちつき大会(北野神社)
- 東京都行政視察(東京しごとセンター)
- 区内行政視察(中野区立本郷小学校弱視学級)
- 防犯パトロール団体交流会(上高田区民活動センター)
- 第49回民生児童委員大会(なかのZERO)
- コミュニティカフェ研究会講演会(区役所)
- 中部支えあいフォーラム(勤労福祉会館)
- ※区内各種団体新年賀詞交歓会に参加(19団体)

**2月**

- 企業視察(株アイエスエフネットハーモニー)
- 第1回定例会(2/19～3/21)
- 上高田地区防災訓練

**3月**

- 中学校卒業式(第5中学校)
- 小学校卒業式(新井小学校)
- 中野区福祉サービス事業団評議員会(勤労福祉会館)
- 内覧会参加(愛育会・障害者グループホーム)
- 行政視察(世田谷発達相談療育センター「げんき」)
- 東京都行政視察(東京都発達障害支援センター・TOSCA)
- (4/5～7)中野通り桜まつり参加(新井文化クラブ)
- 小学校入学式(新井小学校)
- 中学校入学式(第5中学校)
- NPO東京断酒会例会参加(勤労福祉会館)
- 行政視察(渋谷区防災センター)

**4月**

- 企業視察(アイエスエフネットグループ・ユニバーサル就労)
- 聴覚障害者記念大会(なかのZERO)
- 中野区福祉サービス事業団評議員会(勤労福祉会館)
- 区政都政報告会(上高田区民活動センター、商工会館)
- 公明党議員団で中野区長に「公共事業の労務単価引き上げ」申入れ
- 公明党中野総支部時局講演会
- 公明党中野総支部青年部・区内防災イベント

**5月**

- 5/3 公明党中野総支部・憲法記念日街頭演説(中野駅北口)
- 上高田2丁目町会定期総会・もちつき大会
- 西武新宿線既成同盟決起大会(野方WIZ)
- 野方消防団操法大会(江古田の森公園)
- 公明党中野総支部防災フォーラム(コングレスクエア)
- 中野区日韓親善協会定期総会
- 消防合同水防訓練(江古田の森公園)
- 中野区福祉サービス事業団評議員会(勤労福祉会館)

**6月**

- 中学校運動会(第5中学校)
- 第2回定例会(6/3～6/13)
- 伝統工芸展(勤労福祉会館)
- 松が丘片山町会防災訓練
- 《6/14～6/23都議会議員選挙》
- 社会を明るくする運動
- 上高田・ひまわりコンサート(大妻中野中・高校)

**7月**

- 7/20 ラジオ体操全国生放送(平和の森公園)
- 《7/4～7/21参議院議員選挙》
- 7/26-28 薬師盆踊り大会



■ 甲田ゆり子 区民相談受理件数  
2013年1月～7月…136件  
(2011年5月～2013年7月の累計…457件)

区政に関すること、お気軽にご相談ください。

甲田ゆり子連絡先

- 公明党控室 03-3228-8875 FAX 03-3389-8680
- ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/nakano-koda-yuriko/>
- ブログ <http://ameblo.jp/anskissui/>
- Eメール [kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp](mailto:kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp)
- Twitter @KoudaYuriko
- Facebook 甲田ゆり子 または Yuriko Kouda で検索



こうだ

# 甲田ゆり子

## ニュース

公明党 VOL.007

発行元:中野区公明党議員団 ■2013年 夏号

こうだ!と決めたらまっしぐら!生まれ育った中野を笑顔輝くまちに

ご挨拶

甲田ゆり子をいつもご支援くださり、誠にありがとうございます。  
昨年より今夏にかけて、衆議院、都議会・参議院と大きな選挙が続きました。  
皆様のおかげで本当の意味での政権交代ができ、責任ある立場をいただきました。これからが大事と身の引き締まる思いです。

公明党は「小さな声を聴く力」、「生活者の心がわかる党」「平和の党」であり、「政権与党の中にあって持ち味を生かす」と訴え勝利させていただきました。

この結果は、これまでの公明党に寄せていただいた信頼の上にさらなるご期待をいただいたものと受け止めております。

あらゆる機会を通じて私たち区議会議員は、現場・地域にいて、多くの皆様のお声を聴いてまいりました。

一つ一つの小さな声を大切に、国会・都議会と連携しながら全国公明党議員3,000人のネットワークで、皆様のご期待にますますお応えできるよう全力で働いてまいります。

どうか今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

甲田ゆり子

3月5日公明党議員団は高倉都議とともに「風しんの対策要望」申し入れを行いました



▲田中大輔中野区長へ要望書を提出する梁川妙子幹事長と高倉良生都議

4月22日公明党議員団は「公共工事の労務賃金単価引き上げ」の申し入れを行いました



▲田中大輔中野区長へ要望書を提出する公明党議員団と高倉良生都議

# 一般質問に立ちました。

平成25年第2回定例会  
一般質問(要旨)



## 予防ワクチンの正しい情報を 保護者に説明せよ

**甲田** 4月より、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌の3ワクチンが定期接種となり、区民の利便性も向上したが、現在、子宮頸がん予防ワクチンの副反応の報道があり、情報が錯綜している。4月に中野区医師会主催の子宮頸がん予防ワクチン講演会があったが、参加人数が少なかったことが残念。本来このような話を聞く機会は、今後ワクチンを接種すべき年齢の女兒や、その保護者を対象に開催し、多くの区民が聞ける機会を持つべきと考える。子宮頸がん予防ワクチンに関して、保護者に正確な説明が必要と考えるが、区の対応は。

**答弁** 5月の厚生科学審議会において、現在までの副反応について分析が行われ、接種の差し控えの必要はないという結論に達した。さらに有効性についてもすぐれているという判断に変更はなかった。区としても、予防接種の有性や副反応について、保護者にわかりやすく説明するため、区医師会などとも連携しながら周知を図りたい。

## 大人の風疹の予防接種について 実態に合わせた補助のあり方を検討せよ

3月、公明党議員団の申し入れにより、区は即座に対応し、大人の風しん予防接種補助に取り組んだ。ただし、助成対象者は限定されており、まだ妊娠していない妻をもつ夫には助成されない。罹患者は20歳から30歳代の男性に多い。さらに区として補助制度の対象者を拡大すべきと考えるが、どうか。

**答弁** 当初の想定より接種者数が多く、今後も助成上限額6,000円を継続していきたい。

## 小・中学校における 食物アレルギー対策をさらに強化せよ

今般、文科省はアレルギーの実態調査を実施し、学校ごとの詳しいマニュアルの作成を指示した。緊急時の注射薬・エピペンの活用についての研修スケジュールなど具体的な対応、保護者への十分な説明等の取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

**答弁** 都が、必ず研修を受講しなければならないとしている対象の児童生徒の担任および養護教諭のうち、既に約3分の2の教員が研修受講を終了し、残りの者について今後、順次受講する。

保護者向けのアンケートによりアレルギー疾患のある

児童・生徒の状況を把握している。対象者には、学校長をはじめとする教員等で取り組みプランを作成し、保護者と個人面談により決定する際に、給食の提供の仕方や、エピペンを使用した教職員の研修の実施など、区の取り組みを説明している。

## 生活保護にいたる前の 「生活困窮者」就労支援の仕組みづくりを

今、完全失業者数は280万人。働く能力や意欲があるが、働けない人がこれだけいる。また、就労していない若者層の増加も大きな社会問題である。そこで先般、「生活困窮者自立支援法案」※が出され、衆院を通過。この法案が通れば、生活困窮者の自立に向けた総合相談支援事業、就労訓練などを支援する事業が行える。この取り組みは新たな制度の構築であり、複合的な課題に対応できる体制が必要である。現在の区の体制は縦割りとなっているが、横断的な支援室の構築など、準備が必要と考えるが、区長の見解を伺う。

注※「生活困窮者自立支援法案」については、7月参議院選挙直前の参議院国会で、当時多数を占めていた野党側の反対により廃案となって閉会となりました。

**答弁** 法案では、自治体が生活困窮者に対して生活保護になる前段階において就労・自立に関する相談支援事業や幾つかの任意事業を行うことができる、とされている。生活困窮者を把握し、早期自立の支援が期待されており、今後、区としての取り組みを検討したい。

## 生活保護受給者の中間的就労を積極的に

障害などがあっても働く意欲のある場合には労働時間を短くするなどして就労の機会をつくる「中間的就労」への就職を積極的に進めるべき。現在、中間的就労の受け皿がないのが課題。中野区内に、ニートや障害のある方などを多く採用している先駆的な企業の特例子会社がある。

社員を家族のように大切に、社員のやる気と能力を見事に引き出して、毎年黒字経営を達成している。この企業が、ある自治体と連携し、生活保護受給者を中心に年100人の雇用を創出すると発表した。区としても、このような先民間企業のノウハウも活用しながら、画期的な取り組みを行うべきと考えるが、区長の見解を伺う。

**答弁** 民間を活用した中間的就労と言われる就労訓練事業については、モデル的事業を参考に今後検討したい。

## 公共工事に携わる職人の 賃金単価引き上げを確実に

国も都も今年4月から労務単価を全国平均前年度比引上げた。(国は平均前年度比15.1%、都は18.3%引上げ)中野区では、公明党議員団が4月23日に申し入れを行ない、5月1日付で特例措置として賃金の引上げを発表したことを高く評価する。さらに引上げた労務単価がきちんと最終下請である現場の職人さんまで行き渡るよう確認していくべきと考えるが区の見解を伺う。

**答弁** 今回の特例措置に基づき、契約を変更する際には、受注者から特例措置の趣旨に沿った対応をする旨の誓約書を提出していただくこととしている。このような実態的な取り組みが今後とも必要であると考えている。

## 産後ケア体制の充実をはかれ

妊娠・出産後の女性は1カ月ほど無理ができない。しかし昨今、出産の高齢化、核家族化が進み、親を頼れない女性も多く、出産時の母親のストレスが増大している。新たな子育て支援として、産後ケア体制の整備を進める必要があると考えるが見解を伺う。世田谷に、産院を退院した親子が一緒に入院してケアサービスを受けることができる「産後ケアセンター」がある。今般、政府は産後ケアセンターを全国で整備する方針を打ち出した。中野区としても、例えば助産所に宿泊施設を併設する形などさまざまな形態について、今後検討すべきと考えるがどうか。

**答弁** これまでも出産前後を対象に育児支援ヘルパーの派遣など、さまざまな支援を実施して子育て中の不安の軽減を目指している。こういったサービスを充実していくことが大切であると考えている。産後ケアセンターについては、世田谷区などの実施自治体の例を見定めながら、研究を進めたい。



## たばこのポイ捨てをなくし、「きれいなまち中野」に

区民から、たばこのポイ捨てが非常に多く、まちが汚いという声が寄せられている。中野区の条例上では、ポイ捨てをした者に対して区側ができる措置は、「美化活動を行う区民に対して必要な支援を行うことができる」「違反した者に対し必要な指導をすることができる」というもの。この条例は平成17年に一部改正され、「違反した者に対して過料を処することができる」と、一歩踏み込んだ条文が追加されたが、改正した部分については未施行となっている。

追加部分を未施行している理由はなぜか。また、美化活動を行っている区民の現状、それに対する支援はどのようにしているのか、中野区に訪問者を多く呼び込もうとしている今、区内外に「安心してきれいなまち中野」をアピールするため、区民に協力を仰ぎ、何らかの手だてを積極的に講じる必要がある。見解を伺う。

**答弁** 区では、啓発活動の継続的な実施や、区民のマナーアップと環境美化への意識向上を図ることが効果的であると考え、過料徴収については今まで実施していない。既に実施している区では、歳入に対して歳出が大幅に上回っている状況もあり、慎重に検討したい。美化活動を行っている団体に対し、キャンペーン用の上着や清掃用具の貸与を行うなど支援をしている。今後さらにマナーアップなど意識向上に取り組んでいくとともに、分煙運動もさらに進めていく。



## 配備予定のスタンドパイプを有効に活用せよ

**1.初期消火に役立つ消防資機材スタンドパイプについて**  
今年度11台を「火災危険度5」の地域に優先的に配備するというが、具体的な配備計画は。

**2.応急給水(災害時用飲み水の確保)用スタンドパイプについて**  
都水道局から無償で応急給水用のスタンドパイプも貸与される。具体的なスケジュールと配備計画は。さらに、安全に取り扱えるよう、きめ細かく丁寧な説明が必要。

**答弁** 1.初期消火用のスタンドパイプについて、11地区に該当する防災会に試行的に配備する予定。配備先については、ホームページや防災訓練の機会等を活用し周知する。

2.応急給水用のスタンドパイプは、あわせて初期消火にも使用できる。平成25年度は12セットが都から貸与されるので、拠点医療救護所に指定している避難所を中心に、付近の給水拠点の状況等を勘案して配備する。3年間で順次全ての避難所に配備する。

## 中野区を代表する「ゆるキャラ」をつくり、 さらなる区のPRに活用せよ

熊本県のPRキャラクター「くまモン」のように、各地のいわゆる「ゆるキャラ」が地域おこしや地域全般のPRに一役買っている例は多い。中野区でも、広く中野を代表するようなゆるキャラをつくってみてはどうか。

**答弁** 御提案の、テーマを限定しない、広く区を代表するようなキャラクターの作成について、その効用を踏まえつつ研究してみたいと考えている。